

平成30年度 避難訓練実施要領

ニューポートニュース補習校 運営委員会

1. ねらい

- (1) 災害発生時の正しい緊急避難の方法を身につける
(竜巻や火事など災害の性質を考え、安全な行動が取れる態度/習慣を育てる)
- (2) 学校の「緊急避難補則（文書番号B07）」をもとに、適切な行動が取れるか、十分な行動説明になっているかを検証する

2. 日時

2019年（平成31年）2月23日 父母総会時間内 父母総会開始9時～

3. 想定

- ・NNJS補習校近辺に竜巻警報（Tornado Warning）が発令された
- ・校舎内にいる教員/生徒/保護者を全員1階廊下に避難させ、全学年の避難確認実施
- ・生徒の安全姿勢/防火扉を閉じる、の確認実施

4. 事前学習

(1) 竜巻の危険

竜巻は、発達した積乱雲に伴う強い上昇気流によって発生する渦巻き状の激しい突風です。

竜巻は、直径数十メートルから数百メートルで、非常に速いスピードで数キロメートルに渡って移動します。

- ハリケーンのように発生場所/発生時間の予知が難しく、突如襲われる
- 非常に強く激しい突風に巻き上げられたモノが猛スピードで飛んでくる。

(2) 避難場所

頑丈な建物の中に逃げる。窓ガラスは割られる危険がある為、窓がないところに逃げる。

-補習校内での避難場所：カフェテリア側1階通路（カフェテリアも窓ガラスがあり危険の為、通路に逃げる）

- ①1階クラス：カフェテリア側1階通路に避難
- ②2階クラス/図書室：2階からカフェテリア側1階通路に避難
- ③カフェテリア：カフェテリア前通路に避難

5. 避難訓練の役割分担/流れ

次頁参照のこと

避難訓練の役割/流れ

※保護者はカフェテリアと図書室に分かれてスタート

	松本	堀内	六田	行事委員	本多	教員
スタート場所	事務室	事務室	事務室	事務室	コピー室	教室
役割	全体指示	避難指示発令/ 教室の状態確認	教員/生徒/保護者の避難確認	救急箱持ち避難	コピー室/図書室からの避難指導	生徒避難誘導
動き	← 事務室へ移動 →				コピー室へ移動	授業中
10:10	開始指示(竜巻警報確認)	避難指示発令				
	↓	↓	↓	↓	↓	↓
	カフェテリアに避難指示	1階生徒/保護者に避難指示	1階避難場所に移動	救急箱持ち避難	2階生徒/保護者に避難指示	生徒に避難指示
	↓	↓	↓		↓	↓
	避難通路に移動	1階避難完了を確認	教員避難報告の確認		2階避難完了を確認	1階通路へ移動
	↓	↓			↓	↓
	安全姿勢の指示	1階避難完了を副校長に報告			2階避難完了を副校長に報告	副校長に避難完了を報告
		全クラス避難確認				
	↓					
	防火扉を閉じる					
	↓					
	訓練終了指示(訓練時間計測)					
	← 終了後は教室に戻り通常授業 →					

2階

2階にいる教員/生徒/保護者は避難命令後、速やかに1階避難場所へ移動。

小学1～3年の教員・生徒、図書室/コピー室にいる保護者は、図書室前の階段を使い、1階に避難する。

小学4～6年の教員・生徒は、エレベータホール階段を使い、1階に避難する。

1階にいる教員/生徒/保護者は避難命令後、速やかにカフェ側1階通路(避難場所)へ移動。

カフェテリア内も危険の為、1階通路に避難する

「避難指示発令」
トランシーバーで指示する共に、
運営委員による掛声による避難指示

1階

体育館

立入禁止

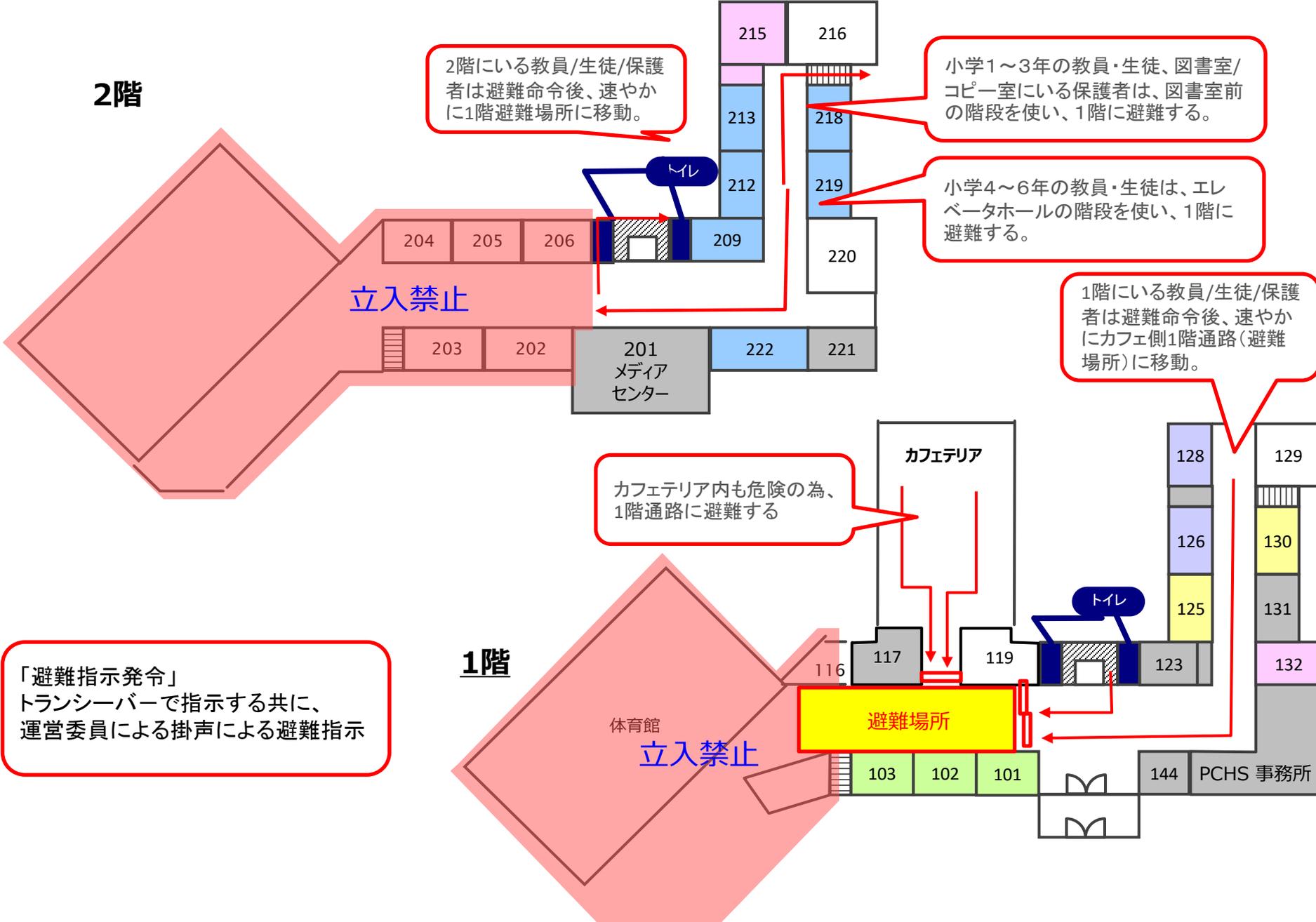
避難場所

カフェテリア

トイレ

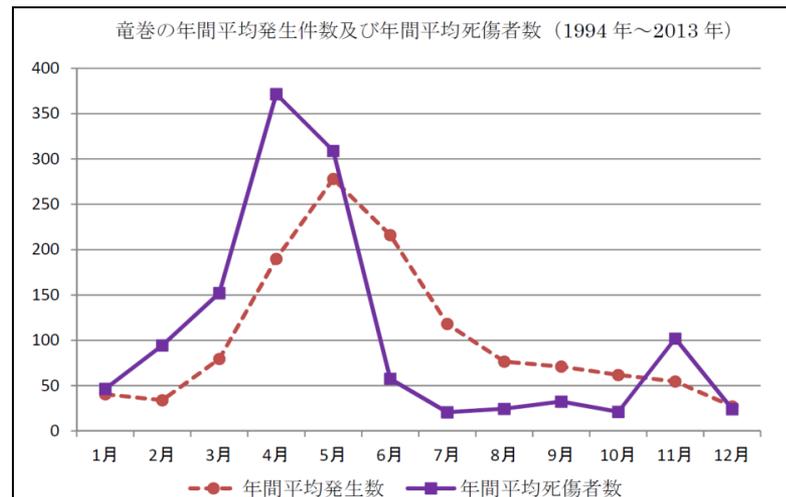
トイレ

PCHS 事務所



【竜巻に関する予備知識】

- 北米では平均1200件/年以上発生。
- 竜巻の多くは中部地区で発生しますが、東海岸の広範囲でも発生しており、バージニアの直ぐ下にあるノースキャロライナはでは多数発生しています。
- 発生時期：最も多いのが5月。4～5月発生 of 竜巻が甚大な被害をもたらす傾向がある。



- 竜巻に関する3段階注意喚起・警報
危険度により竜巻注意報（Tornado Watch）、竜巻警報（Tornado Warning）及び竜巻緊急事態（Tornado Emergency）があり、発令される基準は以下のようになっている。
 - 竜巻注意報（Tornado Watch）、
竜巻が発生するおそれがある場合に発令される。発令時間は4～8 時間程度で、発令時には、避難準備をしておくことが必要。当該注意報が発令された地域の気象台は、注意報の発令時間が終了又は注意報が取り消されるまで、住民に対して情報周知を行う。
 - 竜巻警報（Tornado Warning）
積乱雲内部での渦状の回転がレーダーで検知されるか、竜巻の発生が確認された時点で発令される。竜巻注意報の発令がなくても発令される。発令時間は30 分程度で、発令時には早急にシェルターに避難することが必要。雷雨が発生している場合、鉄砲水警報と併せて発令されることもある。当該警報が発令された地域の気象台は、重大気象声明（Severe Weather Statements）を定期的に発出し、危険がなくなるまで住民に対して情報周知を行う。
 - 竜巻緊急事態（Tornado Emergency）
接近中又は発生中の竜巻により、住民の生命が脅かされているか、壊滅的な被害が発生している場合に発令される。

竜巻緊急事態（Tornado Emergency）が出た時点で、校内に対し避難指示発令（運営委員長）

*竜巻の場合、Warning/Emergencyはそれ程時間を置かないケースが多いとのこと。

【生徒への事前指導】

1) 避難行動時の注意事項

「おかしもち」

- ・おさない : 人をおさないようにしよう。
- ・かけない : あわてて かけて ころばないように おちつこう
- ・しゃべらない : せんせいの声が聞こえるように、しゃべったり、さわいだりしないようにしよう
- ・もどらない : あぶないところにもどらないようにしよう
- ・ちかよらない : きけんなところには ちかよらない

2) 避難場所（学校にいるとき、竜巻に襲われた場合）

竜巻は非常激しい渦巻き状の突風です。窓ガラスが割られることもあります。ガラス窓がない、下位層に避難してください。ニューポートニュース補習校の場合は、[1階カフェテリア前の廊下](#)です。

3) 避難場所でも注意事項

避難場所に逃げても、外部から流れ込んだ突風により様々なものが飛んでくる可能性があります。体を小さく折り曲げ、頭を守る姿勢をとって下さい。



(頭を守る姿勢)